

データ入稿に関しましては、イラストレーター（アウトライン済・CMYKモード）にてお願いします。※アウトライン済のPDFも合わせてお送りください

### ①UVオフセット印刷について

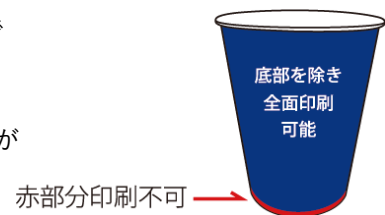
オリジナル印刷紙コップ・フードカップの印刷方式は『UVオフセット印刷』で行われますので、仕上りに関しましては、ポスターレベルの印刷表現が可能です。表現豊かなオフセット印刷は、写真画像や繊細なグラデーションをはじめ、JAN・QRコード等細かいデザインにも対応し、高級感のある仕上りとなります。

### ②使用原紙・色の表現性について

通常、印刷用で使用される紙にはクレイコート(印刷適正を向上させる為の下地)が付加されています。しかし紙コップの場合、食品容器として作られる為に紙自体にクレイコートが付加されていない為、アート紙のようなツヤは出ず、仕上りは若干マットな仕上りとなります。また、アート紙やコピー紙に含まれる蛍光染料(紙を白く見せるために混ぜる染料)は食品用の紙には食品衛生法により禁じられており、使用していないため、原紙自体の色合いが生成り色となります。※コピー紙、アート紙への印刷仕上りに比べまして、赤みが強く出る場合がございます。

(1) 特色をご希望の場合(色の掛け合わせが無い場合)PANTONEでのカラーチップNO.のご指定が可能です。

(2) 印刷範囲 コップ底部より2~3mm程度を除き、外面全面印刷が可能です。



(3) 打抜ズレ・成型ズレ・印刷ピンホール(紙紛)

印刷後、 blanks加工時、紙コップ成型時に若干のズレが発生します。その為、コップ側面貼合紙部に一周続く線や帯、貼合部に合わせる等のデザインがある場合、ズレが発生しますので予めご了承ください。

(参考：右図赤丸部分)



また、印刷工程でピンホールが発生する場合がございます。(ベタデザインに多く見られます)

これは、原紙断裁、切り抜き加工時に発生する紙粉が原因とされ、特に食品用原紙では全てを防ぐことが困難となります。(参考：右図青丸部分)

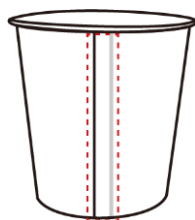
(4) コールド用(両面PE)紙コップ印刷に関する注意点

氷などが入った飲料の場合、紙コップの外側に結露が発生します。

外側にラミネート加工が無いHOT用カップの場合、紙が水滴を吸収し、コップ強度が低下してしまいます。

コールド用紙コップは、強度低下を防ぐ為、外側にもラミネート加工がされており水滴の吸収を防ぎ、強度を保持します。

その為、コールド用カップは、ラミネートの上に印刷となりカップ成型の際にカップ底が強く加圧され、印刷が削れる場合がございます。



### ③校正印刷後の調整について(プロセス4色・掛け合わせ等がある場合)

校正印刷を進行する場合、印刷する為の版を作ります。

版はお客様より頂いたデータに手を加えず、そのままの状態(設定された色の構成比率等)で忠実に印刷版に製版されます。

写真等のプロセス4色、または掛け合わせがある場合、一度版を作成しますと、部分的に色を濃く、薄くなどの細かい調整が不可となり、全体的に明るく・暗く等の調整のみとなります。(再販を除く)

※校正印刷時は展開した状態での確認となります。